

# 上田城

## 再発見

令和8年に復興400年を迎える上田城。市では上田城の復元に向けて調査・整備を進めるとともに、機運醸成のため魅力発信を行っています。

その一環として、昨年10月29日にサントミューゼで上田城シンポジウムを開催しました。その中で平山優さんと萩原さちこさんが紹介された上田城の見どころを一部紹介します。



問 櫓復元推進室 ☎23-5403

### 平山優



歴史学者、健康科学大学特任教授。山梨県埋蔵文化財センター文化財主事、山梨県立博物館副主幹等を歴任。2016年大河ドラマ「真田丸」、2023年大河ドラマ『どうする家康』時代考証を担当。

#### 上田城は真田氏だけのものではない

現在見ることのできる上田城は江戸時代に仙石氏が復興した時のもので、真田氏の城とは違う。現在までの歴史の中でさまざまなストーリーが積み重なってきている。真田氏だけではなく仙石氏や藤井松平氏、上田城だけでなくその周辺の山城、石切り場などの周辺環境も含めて整備、発信などをしていくこともっと面白くなる。

#### さまざまな転機も乗り越えて 守られてきたドラマチックな上田城

上田城は関ヶ原の戦いの後、一度徹底的に壊されている珍しい城。その後幕府の許可を得て復興するものの、未完成で終わっていることも珍しい。昭和になって移築されていた櫓が転売されそうになり、市民の力によって城内に取り戻された。上田城はそういったドラマを感じることができお城。

### 萩原さちこ



城郭ライター、公益財団法人日本城郭協会理事・学術委員会学術委員。城郭に関する執筆業を中心に、多くの講演会やイベントに出演。

## 上田城の楽しみ方

平山優さん  
萩原さちこさん  
オススメ!

野球場として利用されている百間堀跡の背後には、築城当時に対抗する存在だった上杉方の虚空蔵山城、復興後に石垣の石材を調達した太郎山系が間近に望め、当時の上田城が置かれていた環境を感じることが出来る場所です。

### 隅欠

鬼門除けのために設けられた隅欠。絵図では二の丸や中屋敷(現清明小学校)にも見られることから、真田氏時代の上田城からあったものと考えています。

### 百間堀跡と虚空蔵山



### 深い堀跡と鉄道跡

深さのある堀跡が昭和時代に鉄道敷として利用され、現在は市民の憩いの場となっています。橋や駅のホーム跡も残っていて歴史が感じられ、市街地の喧騒を忘れさせてくれる場所です。



### 尼ヶ淵

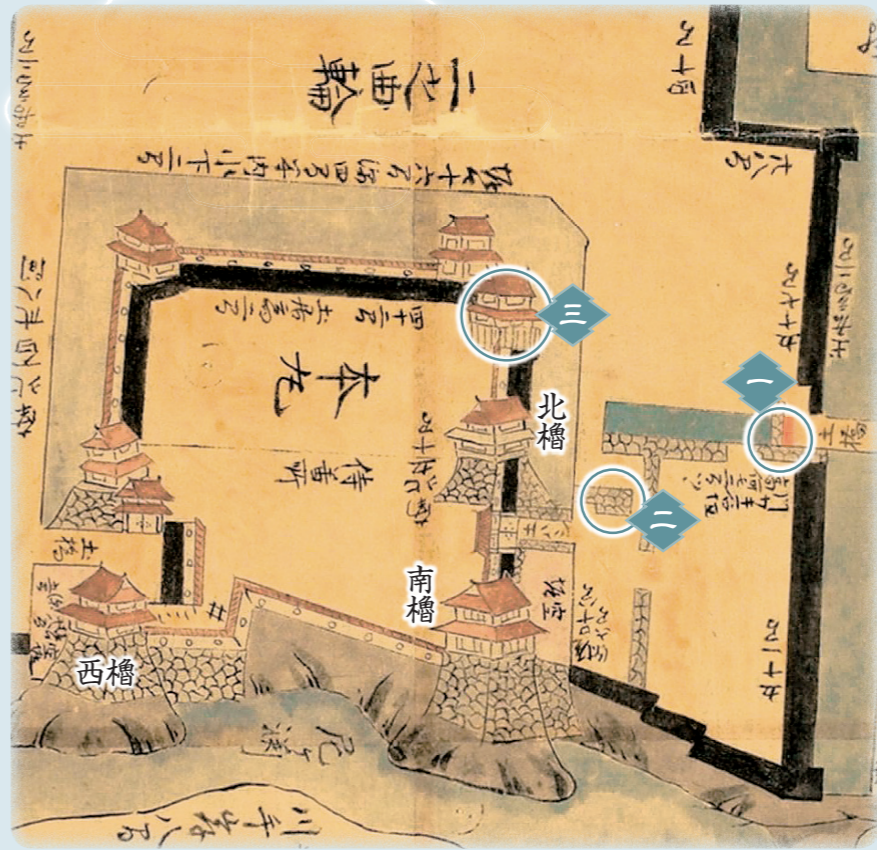
駐車場から見上げる景観は何度来ても写真を撮ってしまいます。尼ヶ淵の崖上という地勢を利用しながら、大規模工事をして築城し、拠点であり続けたという事はやはり上田が重視されていた証しだと思います。



令和5年度  
発掘調査状況

# 上田城の復元に「二歩」近づきました！

仙石氏が復興し幕末まで守られた江戸時代の上田城の姿を復元するため、令和4年度から発掘調査を進めています。  
広報うえだ令和4年9月号でも紹介したとおり、武者溜り周辺の石垣や堀は、明治時代以降に石垣が撤去されたり、堀が埋められたりして、現在の上田城跡公園内では、その姿を見ることはできません。絵図や古文書に当時の様子が残っていますが、細かな位置などが分からないため、地下に眠る痕跡を確認し、正確な位置での復元を目指し、発掘調査を行っています。今年度は3か所で、新たな江戸時代の痕跡が発見されました。



## 三十間堀・葺塀台石垣

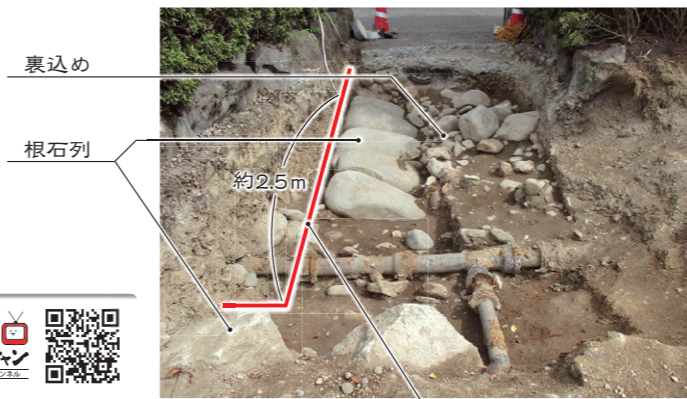
令和5年  
3月12月実施

### 堀の痕跡と石垣の基礎を発見！

三十間堀の北東の隅と考えられる落ち込みと、三十間堀に隣接する葺塀台石垣の根石・裏込めと考えられる集石を確認しました。  
三十間堀と隣接する石垣の場所を見つけることができたので、復元の際の位置を決める資料になります。



堀の一部



三十間堀の東側と推定されるライン



## 冠塀台石垣

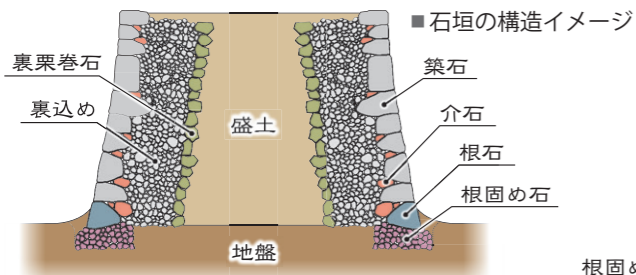
令和5年9月  
現在も実施中

### 石垣の基礎を発見！

冠塀台石垣は解体され、根石も失われていたが、裏込めや根固めと考えられる小石が、带状に見つかりました。

加えて、带状の小石の内側には、固い盛土も見つかりました。

絵図に描かれている石垣の正確な位置を知ることが出来る資料になります。



根固め石と裏込め

## 北東隅櫓跡(南)

令和5年9月  
現在も実施中

### 櫓の中心の位置を確認！

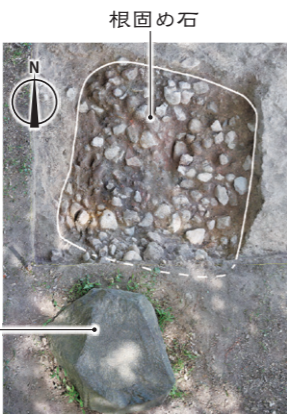
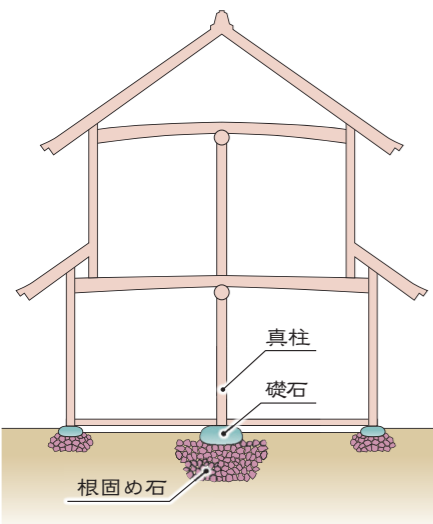
真柱の礎石と考えられている大きな石が置かれている場所から少し北にあたる位置に、2mほどの角が丸い四角い形の穴と、その中に角ばった小石がたくさん入っている場所が見つかりました。小石は、こぶしの大きさくらいです。

これは、櫓の重さを支える真柱の礎石の下に地盤強化のために設置された根固め石と考えられます。

この発見によって、真柱の礎石が置いてあった本来の位置がわかりました。

櫓の復元を目指す際の重要な資料となります。

### 櫓の構造イメージ



根固め石

真柱の礎石  
※江戸時代の位置から動いている



## 今後のスケジュール

令和6年度も引き続き発掘調査を実施予定です。発掘調査の状況により、公園内の園路の通行止めや迂回をお願いする場合があります。  
上田城跡公園にお越しの皆さまにはご迷惑をおかけしますが、ご理解・ご協力をお願いします。

令和10年度	令和8~10年度	令和7年度	令和6年度
武者溜り 完成予定	武者溜り 整備工事	旧上田 市民会館 解体	発掘調査

### 引き続き上田城の資料を探しています

櫓の復元には根拠となる古写真や絵図などが必要なため、7月から懸賞金制度を活用した資料収集を進めてきましたが、なかなか成果が得られていない状況です。3月末まで実施していますので、一度、家庭内や古い蔵などを確認ください。お願いします。



### 復元に向けた市民の会が設立

復興400年の節目に向け、10月2日に「上田城復元の夢を叶える市民の会」が設立されました。市では市民の会と連携しながら、市民や観光客の関心を高めていけるよう、機運醸成や寄附金・募金活動などの取組を進めてまいりますので、ご協力をお願いします。

